

## ライチ便り No. 54

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2022年10月号～

<http://lychee-club.jp/>

朝晩はめっきり冷え込むようになり、木々の紅葉もすすんで晩秋の気配が濃厚になりました。11月に入るとすぐに“師走”の足音が聞こえ始め、慌ただしい気分になりますね。そうした雰囲気追い立てられることなく、短い秋のさわやかさを暫しゆっくりと楽しみたいものです。

先ずは、ライチ便り第54号をご覧ください。

### 第16回飲茶会を行いました

10月18日火曜日に、飲茶会を行いました。毎年火曜日に行うのは、講師の王和雄先生が勤務されている福新樓の店休日だから。いつもお店の若い調理士さんを伴ってお出でくださり、3種類の料理を教えてくださいます。



第16回目となった今回の飲茶会では、特徴的なことが二つありました。

一つは、男性会員の参加が例年より多かったこと。特に、会長・特別顧問クラスの方が買い物から片付けまで積極的にご参加くださったことは嘗てなく、大変うれしい驚きでした。

4グループに分かれて調理したので、4人の男性は各グループに一人ずつ、と考えていましたが、「いえいえ、男性中心のグループを一つ作って、主体的に調理をしてもらいましょう」という意見に押され、男性4人と女性2人のグループができました。

聞くところでは男性の皆さん、包丁さばきもなかなかのもので、手順もよく、出来た料理の味も合格点だったとか。清水特別顧問は、「ちゃんと覚えて帰って、家で作る約束なん



ですよ」と仰っていました。

特徴的な出来事のもう一つは、会場を広州の奥田さんと Zoom で繋いで、広州の今の様子を直接伝えてもらったことです。

### Zoom で広州の北京路を散策しました

会場のアイレフには Wi-fi が設置されていないという問題は、携帯用を借りることでクリアしましたが、もう一つ難題が待ちました。いつもパソコンやプロジェクターなどの機器に関することを担当して下さっている張さんが、開催日間近になって新型コロナ PCR 検査の陽性と分かったのです。この企画自体を諦めるか、あるいは参加者個々人のスマホと繋ぐか等々悩みましたが、この難題も博多港ふ頭株の職員お二人が力を貸して下さったことにより、クリアすることができました。感謝にたえません！



おかげで無事に広州の奥田さんと繋がりが、奥田さんが広州市の繁華街北京路を歩きながら、スマホで撮影し説明して下さいました。奥田さんにはこちらの様子が見えていないため、一人でただ喋るといふ、かなり孤独な作業となりましたが、こちら側の我々には北京路の様子が十分伝わりました。たくさん質問も出され、吉川さんがマイクを使ったりパソコンに顔を近づけたりして仲介の労をとって下さったので、言葉でのやり取りもできました。皆さん、ご苦労さまでした！



---

\* 当倶楽部のHPと各種 SNS を開設しています。是非アクセスしてみてください。

\* 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000 円 団体：一口 10000 円

\* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。